

製品安全データシート

FANCY PINK HR-210(Pigment Red 146-21)

作成 : 2021/6/4  
改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 N-(4-クロロ-2, 5-ジメトキシフェニル)-3-ヒドロキシ-4-[[2-メトキシ-5-[(フェニルアミノ)カルボニル]フェニル]アゾ]-2-ナフタレンカルボアミド  
Pigment Red 146

会社名 IITS CORPORATION  
住所 A-1101, YANGCHEONRO 401, GANGSEO GU, SEOUL, KOREA 07528  
担当部署  
担当者(作成者)  
電話番号 +82-2-2638-5588  
FAX番号 +82-2-2638-5577  
メールアドレス  
緊急連絡先番号 +82-2-2638-5588

販売代理店 サンケミカル株式会社  
住所 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング  
電話番号 03-3661-6681  
FAX 03-3661-7055  
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp  
HP http://www.sun-chemical.co.jp/

推奨用途及び使用上の注意  
顔料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類 (SDS原文より引用)

物理化学的危険性: 分類できない

健康に対する有害性: 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) 区分3

環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル



● 注意喚起語

警告

● 危険有害性情報

呼吸器に刺激を引き起こす恐れがある。

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。

ダスト 粉塵 ガス ミスと 蒸気 スプレーを吸引しないこと。  
換気の良い場所でのみ取り扱うこと。  
換気の良い場所で保管すること。  
法令条例を順守して産業廃棄物業者に廃棄すること。

---

**項目3 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別

工業純品

化学名又は一般名

C. I. ピグメントレッド146

慣用名・別名

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

5-3265

GHS分類に寄与する成分

物質名	CAS/EC	構成	化審法	安衛法
ピグメントレッド146	5280-68-2	94.0%	5-3265	5-3265
非開示物質A	非開示物質	2.5%	既存	既存
非開示物質B	非開示物質	2.5%	既存	既存
水	7732-18-5	1~2%	既存扱い	既存扱い

---

**▲ 項目4 応急処置**

吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。  
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。  
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤

---

**項目5 火災時の措置**

職場のあんぜんサイトから引用

消火剤 水噴霧、泡消火剤

使ってはならない消火剤 粉末消火剤、炭酸ガス

火災時の措置に関する  
特有の危険有害性 燃焼時、一酸化炭素と二酸化炭素と、酸化窒素、塩酸が形成される。  
可燃性ガスが発生する恐れがある。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
爆発の可能性があるので、壁に隠れて消防を行うこと。  
熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋  
安全グラス  
保護具  
呼吸器の保護具を身に着けること。

---

**項目6 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 ダストの発生を避けること。ダストの吸引をしないこと。十分な換気をおこなうこと。  
汚染場所から離れる事。関係のない人を避難させること。換気をする事。  
項目8を参照ください。

環境に対する注意事項 手袋、顔の保護具、密室での漏出時、酸素呼吸器を着用すること。  
適切な保護具は項目8を参照下さい。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出物を適切な容器に入れる。漏出液を塞いで、漏れを止める。  
土壌と水を汚さないようにする。  
下水に流れないようにする。

---

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気) 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、  
保護具を着用する。  
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 必要に応じて換気を行う。  
着火源を近づけない。  
ダストは空気と混ざり爆発性物質になる。  
静電気対策を行うこと。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。  
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件 密閉して保管すること。

近づけてはいけないもの データなし

安全な保管保管包装材料 元の容器

---

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版) ACGIH(2005年) 日本産業衛生学会:第3種粉塵として8mg/m3  
未設定

設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

アース線の接地を行うこと。裸火、熱に近づけないこと。

取り扱い後、手と顔をよく洗う。

保護具

呼吸用保護具 EN143に準拠したフィルターP1

手の保護具 EN374に準拠した手袋  
ニトリルゴム製

眼の保護具 EN166に準拠した安全グラス

皮膚及び身体の保護具 防護服

特別な注意事項

---

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态 粉体  
色 青みのある赤色  
臭い 無し

融点・凝固点 データ無し  
沸点又は初留点及び沸騰範囲 データ無し  
可燃性 データ無し

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 データ無し

引火点	データ無し
自然発火点	>250°C
分解温度	>330°C
pH	5.5
動粘性率	データ無し
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	1.35~1.40g/cm3
相対ガス密度	非該当
粒子特性	データ無し
その他のデータ	分子量 611.04 ダストは爆発性がある。

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	引火点以上の場合、可燃性と爆発性の危険がある。 物質は中性反応をする。
化学的安定性	通常は安定。
危険有害反応可能性	強酸に強い発熱反応があり、爆発の危険性が上昇する。 アース設置を行うこと。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけない事。 引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。 粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。
混触危険物質	可燃物、酸化剤、強酸、金属、水、湿気、アルミニウム、鉄
危険有害な分解生成物 その他	燃えた場合、一酸化炭素と二酸化炭素を発生させる。 一酸化炭素を含む有毒ガス

★ 項目11 有害情報

急性毒性

曝露経路	基準	方法	値	曝露時間	被検体	雌雄	値の決定
経口	LD50		>2000mg/kg		ラット		

皮膚腐食性/皮膚刺激性  
ラビットで刺激無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性  
刺激無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性  
データ無し

生殖細胞変異原性  
データ無し

発がん性  
データ無し

生殖毒性  
データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露  
データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露  
データ無し

誤嚥有害性  
データ無し

その他  
データ無し

---

項目12 環境毒性情報

生態毒性

	基準	方法	値	期間	被検体	試験設計
急性毒性 魚	LC50	OECD201	>100mg /L/92H		ゼブラフィッシュ	
毒性 藻 水生動物	EC50	OECD201	>100mg /L/72H		藻	

残留性・分解性  
データ無し

生態蓄積性  
データ無し

土壤中の移動性  
データ無し

オゾン層への有害性  
データ無し

他の有害影響

---

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

発生する廃棄物は最小限に収めること。  
廃棄容器は安全な方法で処分すること。

---

項目14 輸送上の注意

国際規制  
国連番号  
品名(国連輸送名)

非該当  
非該当

国連分類  
(輸送における危険有害性クラス)

非該当

容器等級  
海洋汚染物質  
(該当・非該当)

非該当  
非該当

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び  
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質  
(該当・非該当)

該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他  
応急措置指針番号

非該当

---

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	通知表示物質 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	非開示物質Aが優先評価物質 他 一般化学物質 化審法第一種特定化学物質 微量PCBsを含有する場合があります。輸入者が定期報告を行っています。
船舶安全法	データ無し
航空法	データ無し
バーゼル法	データ無し
外為法	キャッチオール規制
港則法	データ無し

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法 PCBを副生する恐れがある物質として、IITSをメーカーとして経済産業省、厚生労働省、環境省に届け出を行いました。  
2020年1～12月まで有効。

---

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

---

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くて良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)